

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

2025年度の事業報告書

2025年7月25日から2025年12月31日まで

特定非営利活動法人クゥハウス朋猫

1 事業の成果

設立初年度の目標は、これから長期間にわたって猫と人々の幸福な共存を実現していくために、事業実績を積み上げて当法人への信頼と知名度を向上させることであった。「猫の飼育者探しおよび譲渡事業」に重点を置いて実施し、6匹を無事に譲渡できた。また、9月から多頭飼育崩壊の現場ヘレスキューに入り、50匹以上の猫のお世話をしながら環境改善と譲渡に努め、7匹の譲渡を行った。さらに、家の外で生活する猫に対しての避妊去勢手術を実施し、合計で22匹のTNRを行った。SNSを用いた啓発活動を展開し、YouTubeの登録者は900人、Xのフォロワーは440人と認知を広げているところである。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施予定日 時 (B)当該事業の 実施予定場 所 (C)従事者の 予定人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
①猫の保護および飼育事業	過酷な環境下にある猫を保護し飼育した	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 5人	(D) 大分県内の住民 (E) 50人	150
②猫の飼育者探しおよび譲渡事業	譲渡会の開催などを行い、保護した猫の新しい飼育者を探し、譲渡した	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 10人	(D) 大分県内の住民 (E) 100人	—
③適切な飼育管理への意識や環境づくりの普及啓発事業	譲渡会を開催した時や猫を譲渡した際に、飼育者へガイダンスを行う	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 10人	(D) 大分県内の住民 (E) 300人	—
	YouTubeなどのSNSを用いて啓発活動を行った	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 10人	(D) 不特定多数 (E) 不特定多数	—
④猫の飼育者への支援事業	様々な理由で猫の世話ができなくなった飼育者から猫を預かるサービスを行った	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 5人	(D) 大分県内の住民 (E) 50人	—
	猫の飼育者に対しての相談を受け、助言を行った	(A) 通年 (B) 大分県内 (C) 10人	(D) 大分県内の住民 (E) 50人	—

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(活動計算書)」)

2025年度 活動予算書

2025年7月25日から 2025年 12月 31日まで

特定非営利活動法人クゥハウス朋猫

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	35,000	
賛助会員受取会費		
小計		35,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	135,140	
小計		135,140
3 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
小計		0
4 事業収益		
猫の飼育者への支援事業	0	
猫と人とのふれあい事業収益	0	
小計		0
経常収益計		170,140
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
医療費	125,940	
旅費交通費	0	
食餌費	0	
消耗品費	24,200	
光熱費	0	
IT作成費	0	
譲渡会開催費	0	
ポスター作成費	0	
SNS活動費	0	
シェルター準備費	0	
その他経費計	150,140	
事業費計		150,140
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
業務委託費	0	
消耗品費	0	
その他経費計	0	
管理費計		0
経常費用計		150,140
当期経常増減額		20,000
III 経常外収益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		0
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		20,000
設立時正味財産額		0
次期繰越正味財産額		20,000

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(貸借対照表)」)

2025年度 貸借対照表

2025年12月31日現在

特定非営利活動法人クッハウス朋猫

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	20,000	
流動資産合計		20,000
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		20,000
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		0
当期正味財産増減額		20,000
正味財産合計		20,000
負債及び正味財産合計		20,000

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部		
1 流動資産		
.....		
II 負債の部		
.....		
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
指定正味財産合計	×××	
2 一般正味財産		
一般正味財産合計	〇〇〇	

(法第14条関係)

設立の時の財産目録
令和7年7月25日現在
12/31

特定非営利活動法人クウハウス朋猫
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
大分みらい信用金庫普通預金	20,000	
流動資産合計	20,000	
2. 固定資産		
固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計	0	
資産合計		20,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
事務用品購入代	0	
預り金		
源泉所得税預り金	0	
流動負債合計	0	
2. 固定負債		
長期借入金		
銀行借入金	0	
固定負債合計	0	
負債合計		0
正味財産		20,000